

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 2月15日

事業所名 TURTLE KIDS SENDAI

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			活動によっては狭いと感じる場面がある。
	2 職員の配置数は適切である	○			・日によってはギリギリの人員の時もある。 ・送迎や長期休暇は人員不足を感じる。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○	付き添いや見守りで対応している。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		職員全体でモニタリングを行い、課題や目標を設定している。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		○		・今年度開所したため、前年度分の評価はなし。 ・今年度より実施し、把握と改善に努めていく計画である。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している		○		・今年度開所したため、前年度分の評価はなし。 ・今年度より実施し、結果報告をホームページで公開していく予定。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		・第三者による外部評価を行っていない。 ・今後検討していきたい。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・研修の機会を設けている。 ・参加できない職員には伝達講習を行っている。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		職員会議でプログラム案を検討している。	週ごとに分担して活動プログラムを立案しているため、しっかりと情報の共有を行いたい。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		季節の行事やイベントを取り入れることで固定化しないようにしている。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			活動に対する課題の共有ができていない。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		ミーティングの時間を設け、活動内容の把握や支援内容、送迎、役割分担を確認している。	課題の共有も行っていきたい。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		翌日の朝礼で必ず振り返りや報告を行っている。	支援終了後は送迎等があり、職員が集まる時間が取れないが、緊急の報告は共有している。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		HUGのケア記録に入力している。	・記録をつけているが、職員全体への共有が不十分である。 ・支援について共有できる状況にあるが周知徹底したい。
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○				
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○				

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		保護者を中心に下校時刻などの情報共有を行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			該当せず	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している			対象者なし	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		児童クラブとの交流会を設けている。	感染症対策のため、交流会については十分に検討していきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		活動記録の共有や送迎時にお知らせしている。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		感染症対策のために今年度は実施しなかったが、保護者の希望により個別で行った。	年間計画には組んでいたが、新型コロナウイルス感染拡大につき、保護者に中止をお知らせした。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		保護者に定期的に声掛けを行い、相談に対応している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		年間計画には組んでいたが、新型コロナウイルス感染拡大につき、保護者に中止をお知らせした。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		HUGにてお知らせを出している。	
	35	個人情報に十分注意している	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		意思疎通の方法等、家族や学校と共有して行っている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		感染症対策のため、実施せず。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○	委員会を設置し、定期開催している。マニュアルは、玄関に掲示し閲覧できるようにしている。	策定はしているが、周知が不十分である。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	年間計画を立てて委員会を中心に実施している	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	年間計画を立てて委員会を中心に実施している	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	・契約時、アレルギー等の確認を行っている。 ・年齢や特性に応じたおやつを提供している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		